

## 総合案内

### 概要

#### 主催

一般社団法人日本地球化学会

#### 共催

日本化学会, 日本分析化学会, 日本温泉科学会, 日本鉱物科学会,  
日本地質学会, 日本質量分析学会

#### 後援

東京大学大気海洋研究所, 伯東株式会社, 極東貿易株式会社,  
株式会社エス・ティ・ジャパン, ヤマト科学株式会社, 三洋貿易株式会社,  
株式会社日本レーザー, エレメンター・ジャパン株式会社,  
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社, 株式会社関東理化

#### 会期

令和元年 9 月 17 日 (火) ~ 19 日 (木)

#### 会場

東京大学本郷キャンパス(理学部一号館, 山上会館, 弥生講堂一条ホール)  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

#### 交通

地下鉄丸の内線「本郷三丁目駅」より徒歩 14 分, 地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」より徒歩 12 分, 地下鉄南北線「東大前駅」より徒歩 10 分, 地下鉄千代田線「根津駅」より徒歩 8 分です, 理学部一号館周辺が会場です。

#### 内容

口頭発表, ポスター発表, 夜間集会, 総会, 学会各賞受賞講演, 懇親会など。  
口頭発表は理学部一号館東棟(285 室, 279 室及び 287 室)及び中央棟(233 室, 336 室及び小柴ホール)の計 6 会場で, ポスター発表は山上会館(2 階)にて, 企業展示も合わせて行います。ランチョンセミナーは理学部一号館中央棟(337B 室), メンター懇親会は弥生講堂(会議室), 総会・受賞講演は弥生講堂一条ホール, 夜間集会は理学部東棟(285 室), 懇親会は医学部研究棟 13 階「カポ・ペリカーノ本郷店」, 閉会式は理学部一号館東棟(285 室)で行います。関連イベントとして, 9 月 16 日(月)にショートコースを開催します。

### 学会当日の手続き

#### 受付

理学部一号館西棟入り口近くの 105 室にて会期中毎日 8:30 から開始します。事前に参加登録をされている方は, 受付にて名札をお渡ししますので, 所属と名前をお伝えください。

当日参加申込 事前の参加申込をされなかった方は、受付にて参加申込を行ってください。お支払いは現金のみとなります。領収書が必要な方は、受付にて発行しますので、宛名をお知らせください。参加登録費は、以下のようになっております。

一般会員	7,000 円
学生会員	3,000 円
非会員(一般)	8,000 円
非会員(学生)	4,000 円

なお、会員とは日本地球化学会及び共催学会の会員を指します。当日受付で入会申込された方も会員扱いとします。

講演要旨集 事前に冊子体の購入申込をされている方は、受付でおっしゃってください。基本的には、冊子体の要旨集の配布は行っておりません。学会 HP にある PDF ファイルをダウンロードするなどして、ご覧ください。なお、当日も受付で販売しております。一冊 3,000 円となっております。領収書が必要な方は、受付にてお申し付けください。

クロークサービス 預けたい荷物がある方は、初日、3 日目に受付・クローク(理学部一号館西棟 105 室)にてお預かりします。貴重品や壊れやすいものはご遠慮ください。万全の注意を払っておりますが、万が一の盗難や破損につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

インターネット接続 事前に所属機関において eduroam のアカウント申請を行っていただいている方には、東京大学内の eduroam を利用して無線 LAN をご利用いただけます。eduroam に加入なさっていない機関に所属されている方は、受付にてご相談ください。なお、ポスター会場の山上会館では無線 LAN をどなたでもご利用頂けます(SSID とパスワードを会場に掲示します)。

## 発表について

### 口頭発表

口頭発表時間は、招待講演・基調講演を除き、討論を含めて 15 分です。発表を 12 分以内で終了し、少なくとも 3 分の討論時間を確保するよう努めて下さい。10 分で第 1 鈴, 12 分で第 2 鈴, 15 分で講演終了の第 3 鈴が鳴ります。**招待講演・基調講演の発表時間は、最大 30 分までとします。** 討論等の時間配分についてはセッションコンビーナーにお問い合わせください。

口頭発表には各会場で液晶プロジェクター1台のみを使用できます。また、会場には共用 PC (OS: Windows 10, Power Point 2019, Adobe Reader DC, Symantec Endpoint Protection) を一台用意しますので、発表前に各自発表用のファイルを共用 PC のデスクトップにコピーしておいてください。スムーズな発表者の交替ができるように、発表されるセッション前の休憩時間に一度動作確認をしていただくことをお勧めします。また、自分の PC を使って発表したい方は、必ず事前に動作確認をしておいてください。

### ポスター発表

ポスターを掲示するパネルは **A0 縦長** サイズ (縦 119 cm × 横 84 cm) が貼れる大きさの予定です。パネルには予めポスターの発表番号を示しますので、各自の発表番号をプログラム等で確認して掲示して下さい。掲示に使用する画鋏・テープなどは年会事務局でご用意いたします。

**17 日 (火) コアタイム日のポスターは 17 日 (火) 10 時から 18 日 (水) 正午までの掲示とし、18 日 (水) 正午には必ず外して下さい。** それ以降も掲示してあるポスターは年会事務局が撤去・廃棄しますので、ご協力をお願いいたします。**19 日 (木) 正午コアタイム日のポスターは 18 日 (水) 13 時からの掲示とし、19 日 (木) コアタイム終了 (14 時) 後、17 時までには必ず外して下さい。** それ以降も掲示してあるポスターは年会事務局が撤去・廃棄しますので、ご協力をお願いいたします。コアタイムには発表者はポスター前に立って説明してください。

### 学生発表賞

きわめて優れた口頭・ポスター発表を行った日本地球化学会学生会員に授与します。受賞者発表・表彰式は年会最終日の閉会式で行います。

## 年会会期中のイベント

企業展示      9月17日(火)      9:00～17:00  
                  9月18日(水)      9:00～16:30  
                  9月19日(木)      9:00～16:00

ポスター会場(山上会館 2階)にて、地球化学関連企業による企業展示を行います。参加企業は、以下の通りとなっております(順不同)。

株式会社エス・ティ・ジャパン  
伯東株式会社  
株式会社マイクロサポート  
紀本電子工業株式会社  
極東貿易株式会社  
三洋貿易株式会社  
アメテック株式会社 カメカ事業部  
株式会社日本レーザー  
株式会社環境総合テクノス  
九電産業株式会社 環境部  
昭光サイエンス株式会社  
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社  
共信コミュニケーションズ株式会社

## ランチョンセミナー

理学部一号館中央棟 337B 室において、ランチョンセミナーが開催されます。お茶とお弁当をご用意して、お待ちしております(お弁当は数に限りがあります。先着順で無くなり次第配布は弁当の配布は終了しますが、スペースがある限り参加は可能です)。参加費無料となっております。予約をする必要はありません。直接会場にお越しください。

日時:9/17(火) 12:05-12:50

「The Power of Chromatography for Isotope Ratio MS: Getting More from Less」

Christopher Brodie, Andreas Hilker, Oliver Kracht, Dieter Juchelka, Mario Tuthorn  
/サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

日時:9/18(水) 12:05-12:50

「SOIL FLUX ANALYSIS WITH LGR-ICOS ANALYZERS」

藤原 智 /共信コミュニケーションズ株式会社 電子機器事業本部

9/19(木)12:05-12:50

「CRDS 技術を用いた安定同位体比分析装置、温室効果ガス測定装置のご紹介」

松宮宏幸 /三洋貿易株式会社 科学機器事業部

夜間集会 9月17日(火) 17:00~19:00

**A 会場(理学部一号館 285 室)**において、日本地球化学会将来計画委員会主催による夜間集会を開催いたします。今年のテーマは、「**日本地球化学会の未来を見据えて II**」です。以下の3つの項目について、4名のスピーカーに話題提供をお願いしてあります。軽食をご用意してお待ちいたしております。

司会:南 雅代 次期将来計画委員会委員長

1. 日本地球化学会の倫理要綱:50分(益田 晴恵 会長から話題提供 発表15分 質疑35分)

休憩:10分

2. 出版事業:35分(鍵 裕之 GJ 編集委員長、小畑 元 地球化学編集委員長から話題提供 発表各10分 質疑合わせて15分)

3. 総合討論 地球化学の将来について:25分(鍵 裕之 次期会長から話題提供 発表10分 質疑15分)

昨年に引き続き同じタイトルで夜間集会を開催する。日本地球化学会に限らず、学術団体を取り巻く昨今の環境変化は激しく、速い。今年の夜間セッションでは、特に重要な2つの課題について取り上げ、会員との意見交換を行いたい。1つ目「倫理要綱の策定」に関して、この課題に取り組むワーキンググループで議論した理念のたたき台や、メールベースでいただくパブコメの状況を紹介するとともに、夜間集会で直接会員の意見を募る。学会は様々な倫理的問題からどのように会員を守るか？学会は会員にどのような行動を期待するかなどについて、できるだけ多くの会員の意見を反映した倫理規程の策定を目指したい。2つ目「出版事業」に関して、Geochemical Journal (GJ) 支援の科研費が採択され一息ついたところではあるが、将来的に科研費に頼らない運営体制を模索

することも重要であり持続可能なGJの運営や和雑誌「地球化学」について期待される役割など議論したい。

メンター懇親会 9月18日(水) 12:00～13:00

**G 会場隣接スペース(弥生講堂会議室)**において、世代間交流の場として地球化学メンター懇親会を開催いたします。ご年配の方々には若手にメンターとしてご助言を、若手の方々にはメンターに研究上の様々な相談をしてみましょう。お弁当をご持参の上、お気軽にお立ち寄りください

総会 9月18日(水) 13:00～14:20

**G 会場(弥生講堂一条ホール)**において、総会を執り行います。会員の皆さまは、ぜひとも参加して、学会をよりよいものにしてゆきましょう。

受賞講演会 9月18日(水) 14:50～17:20

**G 会場(弥生講堂一条ホール)**において、学会各賞の受賞者による記念講演会を行います。本年度の各賞受賞者は、以下のようになっております。

日本地球化学会奨励賞

尾崎 和海 会員

「生物地球化学循環モデルを用いた地球表層環境の進化に関する理論的研究」

窪田 薫 会員

「生物源炭酸塩に対する地球化学分析技術を駆使した海洋炭素循環研究」

日本地球化学会賞

川幡 穂高 会員

「環境変動に呼応する炭素等の物質循環に関する地球化学的研究」

平田 岳史 会員

「Earth Metallomics : new approach to decode origin and evolution of life」

柴田賞

兼岡 一郎 会員

「年代・希ガス・マントルー地球内部の化学的環境と

進化を探るためのアプローチ」

懇親会 9月18日(水) 18:30~20:30

イタリアレストラン カポ・ペリカーノ(東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟13階)

にて懇親会を催します。事前参加を申し込んでいる方は、名札を付けてご参加ください。  
人数に余裕がある場合に限り、当日参加も受け付けます。学会受付もしくは懇親会会場  
入口に設置する受付において承ります。料金は以下の通りです。

当日参加料金

一般会員	7,000 円
学生会員	4,000 円
非会員(一般)	7,000 円
非会員(学生)	4,000 円

懇親会場: カポ・ペリカーノ本郷店 Capo Pellicano

<http://www.capo-p.com/access.html>

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部教育研究棟13階

TEL: 03-5841-1527 / FAX: 03-5841-1528



懇親会場は、本郷キャンパス・医学部教育研究棟13階です。総会・授賞式・受賞記念講演が開催される弥生キャンパス・弥生講堂一条ホールから本郷通りを南下して約1km(徒歩約15分)、ポスターセッションや企業展示が開催される本郷キャンパス・山上会館から南へ約500m(徒歩約7分)です。

懇親会場へは、医学部教育研究棟の正面玄関を入れて正面のエレベーターから13階にお越しください。エレベーターを降りたら右手正面にカポ・ペリカーノの店舗入り口があります。受付は店内に設けます。カポ・ペリカーノ店内および階上フロア、医学部研究教育棟13階西側の談話スペースも懇親会場として使用します。同階の近接するエリアには研究室がありますので、エレベーターホールや廊下では大声で騒がないようお願いいたします。会場内数カ所に案内役のスタッフを配置します。

自家用車での来店はご遠慮願います。直接会場に来られる方は、東京メトロ丸の内線・本郷三丁目駅2番出口から徒歩10分、都営大江戸線・本郷三丁目駅4番出口から徒歩約7分、都営バス東大赤門前バス停(茶51系統, 東43系統), 東大病院バス停(学01系統, 学07系統)からいずれも徒歩約3分です。

## 閉会式

9月19日(木) 17:15~17:45

**A 会場(理学部一号館東棟 285 室)**において、本年会の閉会式を執り行います。本年会実行委員会委員長による閉会の挨拶の他、次期年会実行委員長への引継ぎが行われます。また、学生発表賞の発表と、表彰状と副賞の授与式が行われます。前途ある学生さんたちの未来を祝しに、ぜひともご参集ください。

## その他

ご不明な点がございましたら、何なりと会場にいるスタッフにお尋ねください。

### 2019 年度日本地球化学会年会実行委員会トラブル対応デスク

本部	: 乙坂 重嘉・小畑 元	(070-6936-2008)
受付	: 高畑 直人・秋澤 紀克	(070-6936-2009)
E-mail	: 2019LOC@geochem.jp	